

2024年2月28日

今月の放送は、今年度駆け抜けてきた TABUWATA の活動を振り返ると共に、福岡で始まっている TABUWATA の取組の様子をオンラインでお届けしました！

TABUWATA 栃木では、今年度、防災関連の勉強会やワークショップ、まちなかの居場所づくりにもつながる「にほんごカフェ」の開催、宇都宮青年会議所と連携したカミナリ祭での「外国人住民が地域のお祭りに参加したらこんなことができるよ」見本市など、振り返ればたくさんの活動を行ってきました。

番組では、これらの活動に留学生が企画段階から参加できたきっかけや、留学生が参加してくれたことによる展開、TABUWATA としての関わり方などが話されました。イベント参加をきっかけにしながらも、すぐに役割をもって活動に参加してもらったことで、活動の継続に繋がったのではないかと。留学生が地域とつながる際には比較的大人が多いので、日本人の高校生や学生と一緒に活動できたことで、留学生、日本人学生の双方にとって意欲を高める結果になったのではないかという話になりました。

また、福岡市は人口160万人を超えており、外国人住民も市内だけで38,000人を超え、留学生の割合が全国的にみても非常に高いことが紹介されました。（宇都宮市の人口は約50万人、栃木県全体で外国人は4万人を超えています。）これに加えて、韓国人や中国人観光客もたいへん多く、街の中心部の様子はずいぶん違うそうです。

しかし、もっとも外国人住民の多い東区で、日本語学校が2校あるエリアであっても、公民館の活動において外国人住民との交流はほとんどないこと、TABUWATAで行っているような多文化共生に向けた活動は福岡でも必要になっていることが紹介されました。

さらに、なんと！福岡でもTABUWATA活動を始めようというメンバーが少しずつ集まっており、情報交換や交流も始まっていることが報告され、スタジオ内から拍手が起こっていました。

最後に、3月11日13時半から、TABUWATA番組の特番が放送されること、17日には防災関連のシンポジウムで活動紹介をさせてもらうことなどのお知らせもありました。

TABUWATA活動のますますの広がりが楽しみになる回でした。



インサイトと広告を見る

[投稿を宣伝](#)

すべてのリアクション:

1111